

平成18年度組合会計予算決まる

— 平成18年2月7日開催 —

岳南排水路管理組合議会定例会



管理者大綱説明

平成17年度管理組合会計補正予算は、歳入歳出予算を2,183万8千円減額し、総額7億6,138万2千円としました。歳入は排水量の減少などによる使用料の減額と基金運用による利子収入の増額を補正しました。歳出は職員人件費の調整、工事請負費の減額及び予備費を調整して岳南排水路基金に積み増しをしました。

平成18年2月7日（火）午前10時から管理組合会議室において、岳南排水路管理組合議会定例会を開催しました。議会定例会は、平成18年度上程した議案は、平成18年度会計予算など審議案3件と報告案件1件です。

第18号

編集・発行
岳南排水路管理組合
富士市今泉654番地の1
☎(0545)51-2623
FAX(0545)51-2676
e-mail: ex-gakuhan@div.city.fuji.shizuoka.jp

平成18年度
会計予算

平成18年度管理組合会計予算は、歳入歳出予算を7億540万円とし、前年度と比較して5,240万円69%の減額となっています。主な要因は使用料の減少及び基金繰入金が不要となつことによるものです。

歳入では、主財源である使用料収入は、新たに2工場が廃止したことや、排水量が減少傾向にあることなどから、前年度と比較して2,850万円41%減額の6億6,192万円を見込みました。この他、前年度からの繰越金、基金運用利子など4,348万円を計上しました。

歳出では、施設に係る事業費として、管路施設の整備に2億7,936万円ポンプ場の運転や整備のため9,073万円、硫化水素などの調査に757万円の計3億7,766万円（前年度比較5%増加）計上し、歳出総額の53.5%を

平成18年度予算

歳入(会計年度内に入ってくるお金) (単位:万円)

使用料(岳南排水路の使用料)	66,192
繰越金(前年度からの繰越金)	3,000
諸収入(基金運用利子など)	1,348
合 計	70,540

歳出(会計年度内に使うお金) (単位:万円)

管路施設費 (管路施設の整備に)	27,936
ポンプ場管理費(ポンプ場の運転や整備に)	9,073
排水調査費 (硫化水素などの調査に)	757
総務費 (庁舎管理や事務費などに)	19,329
積立金 (災害復旧などに備えた積立金)	13,445
合 計	70,540

新年度の主な事業

保全対策事業

水管橋耐震診断業務委託は、1号第4排水路凡夫川水管橋(富士市久沢地先)の耐震診断及び補強工法等を検討するものです。また1号第1排水路凡夫川水管橋(富士市滝戸地先)は17年度に実施した耐震診断の結果に基づき必要な耐震補強工事を施工します。

管渠更生工事は、老朽化した管の更生や地震対策を目的としていますが、今年度は6件(富士市依田原町、日乃出町、今泉、比奈、依田橋各地先)合計延長602mを施工します。

今泉ポンプ場においては、ポンプ1台の分解点検作業委託(今泉ポンプ場)を実施します。ポンプ場に設置してある4台のポンプはそ

れぞれ10年毎に分解点検整備を行っています。

管路測量調査業務委託(富士市中河原地先)は流量計算等に使用するため、人孔における管底高を調査するもので、平成13年度からの継続事業です。

流下能力対策事業

廃止管路対策工事(1号第1排水路・富士宮市田中町地先)は、住宅地内にあつた排水路を都市計画道路へルート変更したため、不要となつた排水管に工アーモルタルを充填し閉塞するもので、昨年度から

管理組合職員の給与に関する条例の一部改正

「地方自治法」が改正され、職員手当の名称が改められたことに伴い、管理組合職員の給与に関する条例を同様に改正しました。

新年度の主な事業

保全対策事業

水管橋耐震診断業務委託(1号第4凡夫川)人孔補修工事(1号第1)管渠更生工事
1号第5
1号分
2号第1
2号第5
3号第4
4号
水管橋耐震補強工事(1号第1凡夫川)ポンプ分解点検作業委託(今泉ポンプ場)

富士市久沢地先
富士市佐法地先
φ450mm水管橋耐震診断 L=28m
人孔補修工 3箇所 A=45m²
富士市依田原町地先
富士市日出町地先外
φ600mm L=80m
φ1,650mm L=211m
□1,700×1,500mm L=41m
富士市今泉1丁目地先
φ600mm L=61m
富士市比奈地先
φ1,350mm L=68m
富士市入山瀬1丁目地先
φ1,500~1,800mm L=141m
人孔耐震補強工 2箇所
分解・点検整備 1台
富士市今泉地先

流下能力対策事業

管路測量調査業務委託(1号-5号)

富士市中河原地先外
人孔底管高測量 70箇所

関係市等調整対策事業

廃止管路対策工事(1号第1田中工区)

富士宮市田中町地先
φ700mm管路閉塞工 L=192m



この広報誌は再生紙を使用しています。

路線ごとの日程

期 間

自 平成18年7月24日(月) 午前5時 (延べ 108時間)
至 平成18年7月28日(金) 午後5時

日 時 路 線 名	7月24日(月) 5 12 17	7月25日(火) 5 17	7月26日(水) 5 17	7月27日(木) 5 17	7月28日(金) 5 17
岳南1号排水路 (第1-第2-第3-第4-第5-第6-第7)					
岳南1号分排水路					
岳南2号排水路 (第1-第2-第3-第4-第5)					
岳南3号A排水路 (第1-第2-第3)					
岳南3号B排水路 (第4-第5)					
岳南4号排水路					
岳南5号排水路 (第1-第2-第3)					
岳南幹線排水路					

工場ごとの日程

平成18年7月24日(月)午前5時から7月28日(金)午後5時まで

地区	路線	工場名	地区	路線	工場名	地区	路線	工場名	地区
富士宮地区	1-1	森永乳業株富士工場	鷹岡地区	1-4	富士共和製紙株	蓼原地区	1-分	静岡瓦斯株生産・供給	比奈地区
	〃	信栄製紙株		〃	三六九製紙株		〃	管理センター	
	〃	大宮製紙株		〃	マツオ力製紙株鷹岡工場		〃	有後藤商会	
	〃	マスコ-製紙株		〃	三和製紙株		〃		
	〃	㈱ニッピ富士工場		〃	大宮製紙株富士工場		2-1	㈱興人富士工場	
	〃	東京製紙株		〃	鷹岡事業所		〃	美藤製紙株	
	〃	王子特殊紙株第一工場		〃	大宮製紙株富士工場		〃	大二製紙株	
	〃	富士宮事業所		〃	久沢事業所		〃	丸富製紙株原田工場	
	〃	大洋紙業株		〃	新和洋製紙株		〃	株田島鉄工所	
	〃	高尾製紙株本社工場		1-6	松菱製紙株		2-2	丸富製紙株今泉工場	
				1-7	荒川化工業株富士工場		〃	丸茂製紙株	
					明治製紙株鷹岡工場				
鷹岡地区	1-1	(有)フジ化学	伝法吉原地区	1-1	高野製紙工業株	今泉地区	2-3	東海製紙工業株	比奈・鈴川地区
	〃	丸王製紙株		〃	田子浦パルプ株		〃	丸王製紙株吉原工場	
	〃	丸富製紙株富士根工場		〃	德育製紙株		〃	ダイニックス株	
	〃	西山工業株		〃	中西製紙工業株		〃	大平カリニー富士工場	
	〃	東洋インキ製造株		〃	富士メッキ株		2-4	ニットク株	
	〃	富士製造所		1-5	三幸株		〃	和興製紙株	
	〃	天間特殊製紙株		〃	イデシギヨー株		2-5	新橋製紙株	
	〃	王子キノクロス株		1-7	(株)国光パルプ事業部		〃	新橋製紙株第二工場	
	〃	富士工場		〃	明治製紙株伝法工場		〃	大日製紙株	
	〃	王子特殊紙株第一工場		〃	勇和産業株		〃	大日製紙株第二工場	
	〃	丸井製紙株板紙工場		〃	キムラス株		〃	美藤製紙株第二工場	
	〃	滝沢製紙株		〃	大宮製紙株富士工場		〃	富久興製紙株	
	〃	岳南第一製紙協同組合		〃	伝法事業所		〃	ミヅホ製紙株	
	1-2	丸井製紙株家庭紙工場		〃	大進加工紙株				
	1-3	富士里と製紙株		〃	紺屋製紙株				
	〃	丸金製紙株		〃	丸紅株静岡支店				
	1-4	東洋ファイバ一株		〃	明治製紙株本社工場				
		富士工場		〃	王子板紙株富士工場				

平成18年7月24日(月)午前5時から 平成18年7月26日(水)午後5時まで		
地区	路線	工 場 名
原 田	3A-1	イズミコーポレー ション(株)
	//	三島製紙㈱原田工場
地 区	3A-2	望月紙業(株)
	//	五條製紙㈱
3A-3		小野製紙㈱
	//	春日製紙工業(株)

地区	路線	工 場 名
平 壇 ・ 夢 原 地 区	5-1	王子製紙株富士工場
	//	大興製紙機
	//	日本製紙株富士工場富士
	//	王子特殊紙株富士工場
	5-2	アステラス静岡岡
	5-3	王子製紙株富士工場

平成18年7月24日(月)午前5時から		
平成18年7月26日(水)午後5時まで		
地区	路線	工 場 名
今 泉 地 区	幹線	日清紡績(株)富士工場
	//	三島製紙(株)原田工場 依田橋



写真提供・アステラス静岡



平成18年3月31日付
で渡邊局長の定年退職
に伴い、新局長に管理組
合設施課長の丸山友則
氏が就いたします。
丸山氏は昭和53年に
採用されて以来、技術
者として施設の維持管
理に携わり、採用以前に
勤務していた民間建設
会社で得たノウハウを
生かし、管渠の新設工事
や更生工事などを広く
手がけてきました。
今後も、効率的で安
全な維持管理を目標と
し、地震等の災害に強い
施設作りを推進して行
く所存であります。

新局長に丸山友則氏

同棟内は、外部からの雑菌や異物の持込を防ぐため、入室者は更衣やエアーシャワーを浴びるなど細心の注意を払っています。また、室内の温度や湿度は常



グループ企業であるアステラス製薬は、売上高、研究開発費において国内トップクラスで、世界の人々の健康に貢献するよう事業展開しています。

アステラス静岡(株)へ研修

平成18年2月8日・9日

に一定に保たれ、薬剤の充